



▲高森町に10月オープン予定の国民休暇村本館宿舎完成予想図

余暇時間の増大に対応して観光への需要はますます増加しています。本県は美しい自然や数多くのすぐれた文化遺産など恵まれた環境にあります。一方において新幹線が博多まで、九州縦貫道が博多から熊本までそれぞれ開通する

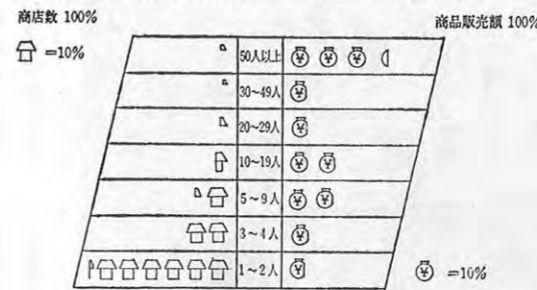
など、交通網の整備が進んでいます。観光の振興に当っては自然環境と調和した観光開発を進め、多くの観光客を誘致する対策を促進するとともに、観光客に対する県民総ぐるみでの親切運動を展開します。

- ★観光客誘致対策……………二百三十八万円  
県内あるいは九州域内における高速交通網が整備されるに従い、観光客はますます増加しており、これに対応して本県に多くの観光客を誘致する必要がありますので、印刷、電波などの媒体を有効に活用するほか、市町村、観光連盟等と密接な連携をとり、また、九州各県とも合同して広域的な誘致対策を講じます。
- ★国立、県立公園施設整備……………七千九百十万円
- ★観光地帯基盤整備……………百三十七万円  
健全なレクリエーション施設の計画的な整備を図るため、県内各地における新しい観光資源を開発し、高原観光、海洋観光、都市近郊あるいは森林観光地帯としての核となる新しい観光地を整備するための調査を実施します。
- ★親切運動……………四百万円  
美しい自然や風土を求めて、多くの観光客が県内各地を訪れますが、観光客に対しての県民の温かい心、親切なもてなしは観光客誘致のPRにもまして大切であり、効果も大でありますので、県民総ぐるみでの親切運動の展開と観光従事者の接遇研修を重点的に実施します。
- ★自転車道整備……………一億円  
健康の増進と憩いの新しい位置づけから、自然とふれあい、安全で快適な走行ができる自転車専用道の新設を昭和四十九年度からすすめております。この路線は熊本城を起点として山鹿市に至る三十四キロで総事業費十七億五千万円を要しますが、当初五カ年計画で熊本市島崎町から十五・七キロを現在整備中です。

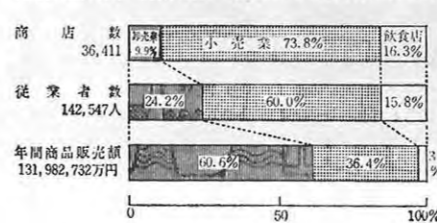
商業

工業

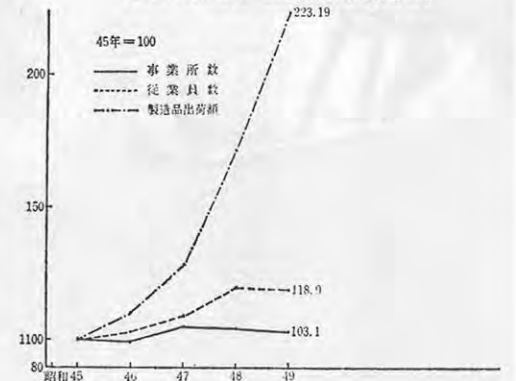
従業者規模別商店数および年間商品販売額の構成(昭和49年)



業種別商店数・従業者数・年間商品販売額の割合(昭和49年)



工場数・従業者数・製造品出荷額等のうごき



部門別製造品出荷額等



中小企業をとりまく環境は、わが国経済が高度成長経済から低成長経済へ大きく転換するなかにあつて、まことにきびしい局面に立たされております。

県内企業の九九・六%を占める中小企業がこのような厳しい環境のもとで将来にわたり発展成長をとげていくためには、企業自らの経営努力と相まってきめ細かい行政施策の展開が重要な課題となっております。

したがって、中小企業振興対策として経営基盤の弱い多くの中小零細企業に対し体質改善のための経営の近代化、合理化を推進し企業の経営基盤を充実強化してまいります。

また、金融対策として中小企業者に対する融資の緊急性と重要性にかんがみ、融資枠の拡大、信用補完制度の充実による金融の円滑化を図るほか、指導体制の強化を図ることにしました。

★中小企業高度化、近代化推進……………二十六億四千九十七万円  
中小企業の体質改善並びに近代化を推進するため、工場等集団化、貨物自動車ターミナル等集団化、小売商店店舗共同化、共同施設など、企業合同の高度化事業及

び企業の設備近代化に必要な資金の貸付けを行ない、構造改善を推進します。

★金融対策の強化……………五十八億五千四百四十四万円  
中小企業の経営合理化を推進するため、政府系金融機関資金の積極的な導入、県制度融資枠の拡大、信用補完制度の充実、信用組合の育成などにより中小企業金融を円滑に推進します。

★下請け中小企業の振興……………一千八百八十万円  
経済環境の変化と一流企業の進出に対応できうる下請企業への体質改善と受注体制を整備し、下請取りきの適正化と安定化を図ります。

★伝統工芸産業の振興……………四百二十六万円  
本県にはすぐれた伝統工芸品が数多く存在しているが、経済社会の急激な変革の中で極めて厳しい事態に直面しております。

これらの産業の育成振興を図るため、昨年度に引き続き、後継者の育成対策を推進するほか、企業診断を行い適時適切な経営指導や技術向上対策を推進します。また、県民に正しい理解と認識を深めるため、伝統工芸産業展を開催します。

本県には、阿蘇、天草の国立公園、七つの県立公園がありますが、これらと調和のとれた健全な観光レクリエーションの場を作るため、阿蘇、天草の国立公園に園地、駐車場、歩道を整備するとともに、県立公園内においても矢部郷、芦北海岸の国民保養地の整備や、市町村の整備事業に対し補助をいたします。

★九州自然歩道……………七千二百万円  
都市化の進展と各種の開発による自然破壊など、生活環境の悪化に対し、人類の自然に対する欲求がきわめて強いものがありますので、九州各県では昨年度より自然歩道を建設して、自然の中での体づくりや健全なレクリエーション活動を促進する計画です。本県では五十年度には阿蘇外輪山中坂峠八キロを建設し、本年度は引続き阿蘇日ノ尾コース、南外輪コース及び泉村の五家荘コースを整備します。